

平成 3 0 年 3 月 議 会 関 係 要 求 資 料

名古屋港管理組合

目 次

1	新舞子マリンパーク風力発電所の設置から2号機撤去の経緯、収支実績及び今後の収支予測	1 頁
2	その他事業計画調査等の内訳	2
3	海事思想普及施設等の内訳及び前年度比較	3
4	公共事業の内訳及び前年度比較	4
5	県市負担金充当事業の執行状況	5
6	ガーデンふ頭岸壁改良等の詳細	6
7	名古屋港水族館施設補修工事の内訳	7
8	中川運河水上交通の実績	9

所管委員会

企画総務委員会：1～5

港湾建設委員会：1～8

1 新舞子マリンパーク風力発電所の設置から2号機撤去の経緯、収支実績及び今後の収支予測

(1) 設置から2号機撤去の経緯

新舞子マリンパーク風力発電所については、名古屋港から排出される温室効果ガスの削減を図ることを目的とし、平成17年2月に2基供用を開始した。

平成29年1月に2号機において、羽根の回転を発電機に伝える主要な機器であるギアボックスが故障し、現在、停止している。

今後の風力発電所の収支を検討した結果、2号機のギアボックスを修繕しても、供用開始から13年が経過し老朽化していることから、今後も補修費が増大することが見込まれるため、平成30年度に2号機を撤去するものである。

なお、撤去については、地元との調整、理解に十分取り組んでいく。

(2) 収支実績（平成16年度（売電開始）～平成28年度）

（単位：円）

売電収入	391,125,437
管理運営費	271,359,554
基金残高（差引） （平成28年度末）	119,765,883

(3) 今後の収支予測（平成29年度～平成37年度）

（単位：円）

売電収入	162,900,000
管理運営費 ※	305,000,000
収支予測	△ 142,100,000
基金残高見込み （平成37年度末）	△ 22,334,117

※ 1・2号機の撤去費を含む。

2 その他事業計画調査等の内訳

(単位：千円)

区 分		平成30年度 当初予算	主 な 内 容
企画調整費		43,900	
	航路体系調査	10,000	船舶の更なる大型化への対応に向けた安全で効率的な将来の航路体系の検討
	産業動向調査	9,000	港湾を取り巻く経済社会情勢の変化に対応する物流機能の将来展開に向けた背後圏産業の動向把握
	港内しゅんせつ土砂対策調査	8,000	埋立計画の事業化に伴う海域環境への影響の対応に向けたしゅんせつ土砂対策の検討
	その他	16,900	船舶の排出ガス規制強化に伴う船舶へのLNG（液化天然ガス）燃料供給に関する検討等
建設費		616,100	
	直轄事業負担金	80,000	清龍丸使用料等
	受託工事費	536,100	施設運営事業会計受託事業
	上屋改修工事	141,900	稲永ふ頭北1号上屋改修工事始め4件
	護岸築造工事等	102,900	金城ふ頭護岸築造工事始め3件
	荷さばき地補修工事	122,000	金城ふ頭荷さばき地補修工事始め6件
	その他	169,300	飛島ふ頭南土質調査等
合 計		660,000	

3 海事思想普及施設等の内訳及び前年度比較

(単位：千円、△印は減額を示す。)

区 分		平成30年度 当初予算(A)	平成29年度 当初予算(B)	増 減 額 (A) - (B)	主 な 増 減 内 訳
補助事業	ガーデンふ頭岸壁改良	346,500	16,612	329,888	3号岸壁延長工事着手による増
	ガーデンふ頭屋根付通路実施設計	22,000	0	22,000	
単独事業	大型客船対応	154,968	30,292	124,676	外国客船受入隻数の増
	港務艇補修費	165,500	23,700	141,800	船舶安全法に基づく定期検査費用の増
	ポートハウス等施設補修費	106,400	129,400	△ 23,000	
	港湾会館等管理運営費	199,855	209,503	△ 9,648	
	広報広聴費その他	138,427	180,294	△ 41,867	名古屋港開港110周年記念事業終了による減
合 計		1,133,650	589,801	543,849	

4 公共事業の内訳及び前年度比較

(単位：千円、△印は減額を示す。)

区 分	平成30年度 当初予算(A)	平成29年度 当初予算(B)	増 減 額 (A) - (B)	主 な 増 減 内 訳
補助・交付金事業	2,244,600	2,165,300	79,300	ガーデンふ頭岸壁改良 346,500 中川運河護岸改良等老朽化対策 116,900 潮風ふ頭岸壁改良 84,400 海岸堤防老朽化対策 40,900 大江ふ頭岸壁整備 △399,000 飛島ふ頭道路改良 △126,000 中川運河水質改善 △31,200 その他 46,800
国庫支出金	929,800	926,000	3,800	
組合債	1,145,000	1,077,000	68,000	
一般財源	169,800	162,300	7,500	
直轄事業	(7,997,000) 3,383,900	(5,482,000) 2,335,000	(2,515,000) 1,048,900	
組合債	2,974,000	2,030,000	944,000	金城ふ頭岸壁整備 468,900 飛島ふ頭岸壁改良 251,000 庄内川泊地しゅんせつ 279,000 予防保全（岸壁改良） 50,000
一般財源	409,900	305,000	104,900	
合 計	(10,241,600) 5,628,500	(7,647,300) 4,500,300	(2,594,300) 1,128,200	

(注) () は直轄事業の国負担分を含む。

5 縣市負担金充当事業の執行状況

(単位：千円、△印は減額を示す。)

区 分	平成29年度				補 正 内 訳
	現計予算額	執行見込額	補正額	うち県市負担金	
補助・交付金事業	2,062,300	1,869,339	△ 192,961	△ 27,400	
改修（国際拠点）補助事業	900,000	900,000	0	0	
改修（港湾機能高度化施設整備）補助事業	0	10,000	10,000	0	特定外来生物定着防止対策
港湾改修（国際拠点）交付金事業	120,000	114,173	△ 5,827	△ 187	飛島ふ頭道路改良
港湾改修（老朽化施設活用）交付金事業	428,700	286,090	△ 142,610	△ 19,263	潮凧ふ頭岸壁改良 △ 25,649 中川運河護岸改良 △ 110,061 金城ふ頭岸壁改良 △ 6,900
緑地等施設整備交付金事業	12,600	8,901	△ 3,699	△ 50	中川運河（堀止）緑地整備
海域環境創造・自然再生等交付金事業	39,800	39,800	0	0	
高潮対策交付金事業	329,299	278,474	△ 50,825	△ 7,900	築地東ふ頭護岸改良 △ 2,325 潮見ふ頭護岸改良 △ 48,500
津波・高潮危機管理対策交付金事業	43,483	43,483	0	0	
海岸耐震対策交付金事業	178,589	178,589	0	0	
海岸堤防老朽化対策交付金事業	9,829	9,829	0	0	
直轄事業	2,335,000	2,386,401	51,401	△ 48,599	飛島ふ頭岸壁改良 △ 60,000 予防保全（岸壁改良） △ 113,599 庄内川泊地しゅんせつ 225,000
公債費	8,758,922	8,659,482	△ 99,440	△ 99,275	
合 計	13,156,222	12,915,222	△ 241,000	△ 175,274	

(注) 直轄事業は港湾管理者負担金を示す。

6 ガーデンふ頭岸壁改良等の詳細

(1) 平成30年度当初予算内訳

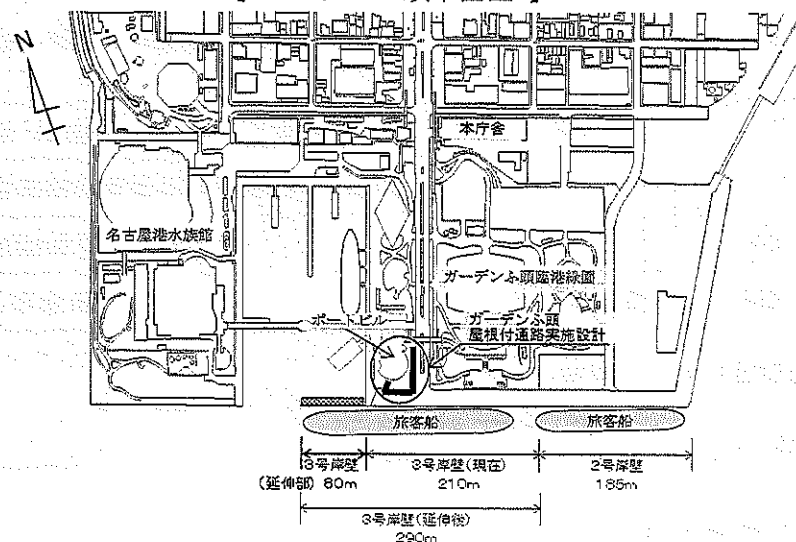
(単位：千円)

区 分	平成30年度当初予算額	内 容
ガーデンふ頭岸壁改良	346,500	3号岸壁延長工事
ガーデンふ頭屋根付通路実施設計	22,000	屋根付通路設置に必要な設計
計	368,500	

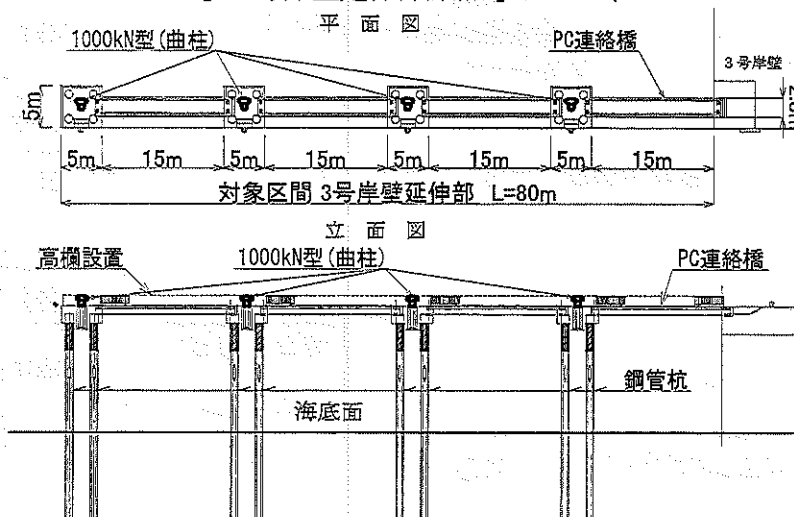
(2) 3号岸壁の概要

諸 元	現 在	延 伸 後
水 深	10m	
延 長	210m	290m
船種、トン数	旅客船、20,000総トン	旅客船、50,000総トン

【 ガーデンふ頭平面図 】



【 3号岸壁延伸部詳細 】

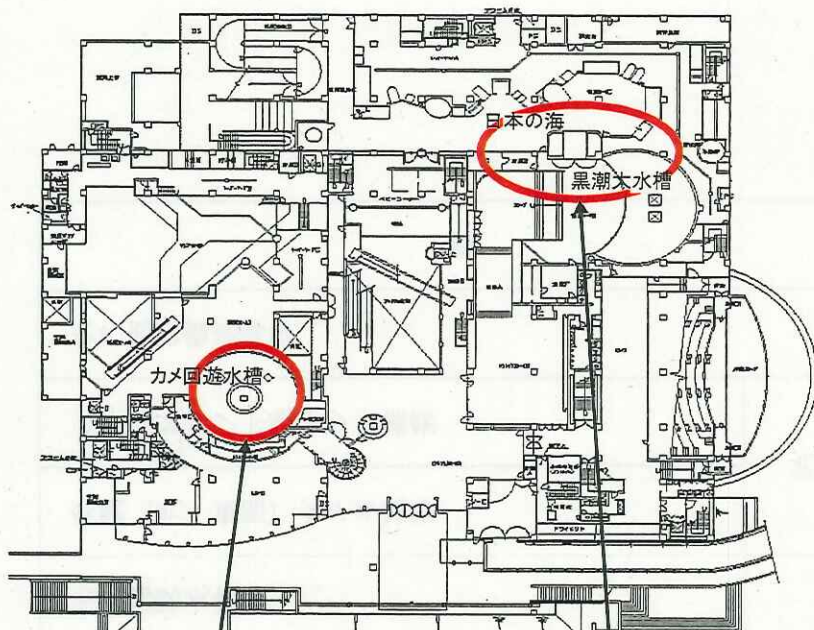


7 名古屋港水族館施設補修工事の内訳

(単位：千円)

区 分		平成30年度 当初予算	備 考
カメ回遊水槽補修	南館	325,000	経年劣化による補修等
ろ過槽防水補修		84,100	
外壁（北・東面）タイル補修	北館	49,800	
メインスタンド鳩ネット補修		43,786	
その他設備補修等		84,400	
計		587,086	

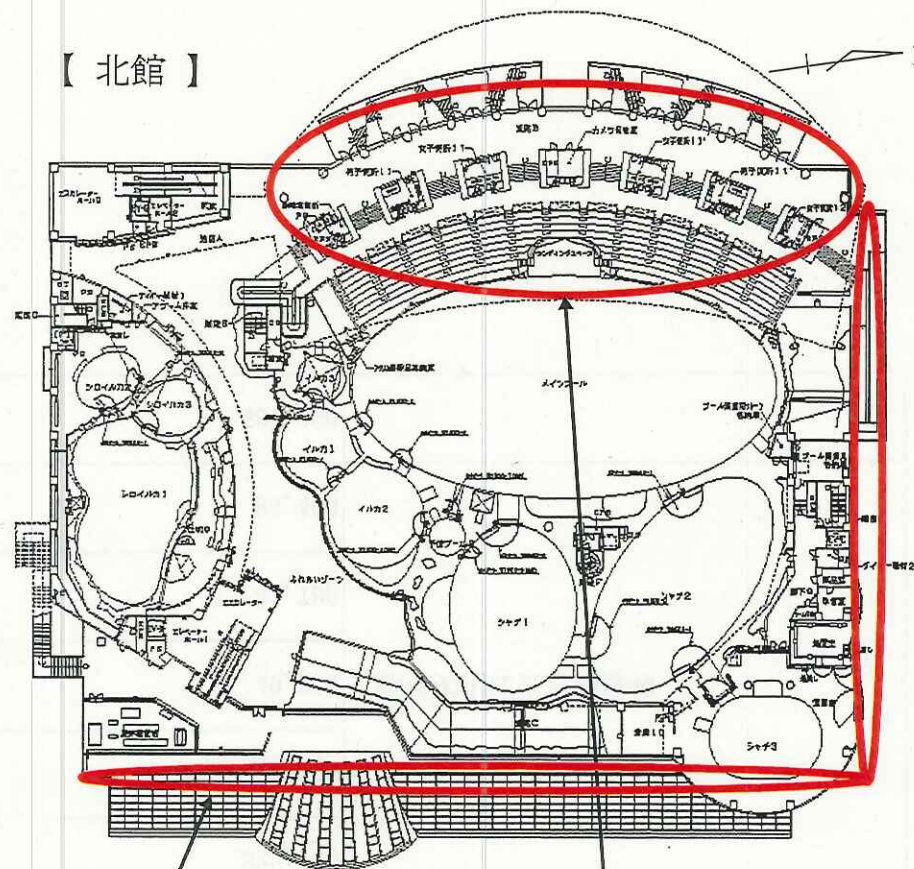
【 南館 】



カメ回遊水槽補修

ろ過槽防水補修

【 北館 】



外壁（北・東面）タイル補修

メインスタンド鳩ネット補修

8 中川運河水上交通の実績

平成29年10月8日より開始している水上交通試験運航の乗船実績は以下のとおりである。

年月		乗船人数 (人)	運航日数 (日)
平成29年	10月	1,015	7
	11月	1,727	9
	12月	1,025	15
平成30年	1月	651	12
	2月	430	8

Handwritten notes in a cursive script, likely a ledger or account book. The text is organized into columns and rows, with some entries appearing to be dates or numerical values. The handwriting is dense and somewhat difficult to decipher due to the cursive style.

Handwritten notes in a cursive script, continuing from the left page. The text is organized into columns and rows, with some entries appearing to be dates or numerical values. The handwriting is dense and somewhat difficult to decipher due to the cursive style.